検見川クロカン 2015 会員マニュアル　第 8 版

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

★作業役割は、一人一人に対して、準備作業の役割（班）と競技開始後の役割（班）の二つがあります。
★【タイムスケジュール】、【注意事項】、【スタート準備～スタート】、【デュアルたすきリレー～打上げ】は全員お読みください。
★上記以外の 囲み の項目は、・・・右側に、対象者を記しておりますので、対象の方は必ずお読みください。
★太字は各作業班のリーダーを示します

【タイムスケジュール】

クロカン周回 2 時間チャレンジ

7:00～ 7:10　運営委員ミーティング
7:10～ 7:20　会員受付（ネームホルダー、最新マニュアル、参加記念品、軍手））
7:20～ 7:25　朝礼、全体ミーティング
7:25～ 7:30　班ミーティング①　競技開始後の作業班（顔合わせ程度）
7:30～ 7:35　班ミーティング②　準備作業の班　※道案内班は後に行うのでこのミーティングは無し
7:35～　準備作業開始
7:30　赤帽駐車場到着
7:30　計測業者ピークル到着
チップ装着見本シューズ、足首バンドを受け取り、可能であればタイマーを積む
7:45　搬入門の鍵入手 → 開場 → 車両搬入 → ピークル設営開始（アンテナ、計測マット、VTR）・・・小山
～ 8:30　道案内・・・準備完了
～ 8:45　受付、場内誘導・・・準備完了
9:00～ 9:30　競技者受付
～ 9:30　本部、給水所、記録掲示・・・準備完了
9:30～　選手の運動場入りＯＫ
～ 9:45　受付一次閉鎖（予定）
～ 9:45　コース設営、記録計測・・・準備完了
10:00　受付完全閉鎖
10:00～ 10:10　開会式（諸注意、コース説明）
10:10～ 10:20　各競技開始後の班　最終確認ミーティング～ スタンバイ
10:20～ 10:30　スタート整列
10:30～ 12:30　競技
12:30～　リザルト確定次第、ピークルが計測テント内で賞状と記録証の印刷開始
～ 12:45　閉会式、表彰式、抽選会準備
12:45～ 13:00　閉会式、表彰式、抽選会
13:00～ 13:15　記録証配布

会員イベント「デュアルたすきリレー」

13:05　午後から参加の方集合　→　着替え、運動場へ移動
13:50～14:10　ウォーミングアップストレッチ、ルール説明
14:10～15:30　デュアルたすきリレー
15:30～15:50　クールダウンストレッチ
15:50～17:00　撤去作業～シャワー
17:30～19:30　打上げ、表彰式

【注意事項】

・当日または前日までの雨や朝露などで、芝が濡れている場合もあります。荷物を守るレジャーシートや大き目のゴミ袋が便利です
・予め動ける服装で来られることをおすすめしますが、着替えは作業の状況を見ながらリーダーと相談のうえ行います。選手と同じ更衣室を利用します
・昼食は各自手で作業状況を見計らって 13:50 までに取る。リーダーと相談の上、競技中に取っても良いです。近くにセブンイレブンがありますが、閉会式、記録証印刷までは忙しいので、予め用意して持参された方がゆとりをもって食べられます
・携帯を必要とする役割の方は忘れないように携帯する・・・運営委員、道案内、コース設営班長、監察、
・軍手は全員に配給します
・私物荷物はコインロッカーに入れるか運動場の本部テント横に置く
・セミナー棟のトイレの位置は数カ所あるので、受付班、場内誘導班はすべての場所を把握しておく
・運動場の AED 設置場所、トイレ位置を確認しておく
・会員は閉会式、記録証配布までネームホルダーを常に付けておく（終了後回収）
・給水所の水はスタッフが飲んでも良いです
・競技中に救急車両を要請した場合は、セブンイレブンに抜ける車両門から出入りする。コース上にかかわる場所の場合は、到着から搬送までの間、競技を一時中断して、選手にはその場で座ってもらう。スターターピストル 3 発で合図、全スタッフ協力して伝言しながら選手に呼びかける。

【準備作業】

仕分け運搬作業 ・・・全員

■1．荷物、備品の仕分け、運搬からはじめる

＜施設から借りるもの＞

・やかん、氷：セミナー棟内 1F 食堂から出す・・・給水所設営班
・三角コーン、コーンバー：セミナー棟裏手の倉庫から出す
・本部用テントと計測用のテント、長机、椅子：予め運動場にある ※テントは要組立
・受付で使う長机、椅子：セミナー棟内 1F セミナールーム（丸い部屋）より運ぶ・・・受付班、場内誘導班

＜当日朝、計測業者ピークルが車で搬入する物 7:30＞

・計測機材、印刷機材・・・車両のまま運動場へ
・チップ装着見本シューズ 2 足・・・1 足は受付へ、 1 足は運動場本部へ・・・渡邉
・チップ装着足首バンド・・・30 個を受付へ、残り 20 個を運動場本部へ・・・渡邉

＜前日までに宅配で届けられる物＞

・レンタル品（リヤカー、タイマー、クーラーボックス大、トラメガ、スターターピストル、雷管、カップ）
・・・セミナー棟内 1F にある、梱包をチェックして黄色のガムテを貼る・・・佐々木
→ 貼られたテープを確認して運動場へ降ろす。

＜当日朝、赤帽で到着する物 7:30＞

・上記以外のすべて
段ボールまたは袋に貼られているカラーガムテープの色で仕分け運搬する
赤色：受付、道案内、会場誘導で利用する、午後のリレーの賞品（打上げで利用する）・・・受付周辺へまとめる
黄色：運動場で利用する・・・運動場の本部回りへ運搬

■2．受付班と場内誘導班は受付の準備作業にとりかかる（運動場への荷物の運搬をしない）

■3．道案内班、コース設営班、給水所設営班、本部設営班、記録班は、運動場への運搬をする。

・リヤカー1 台を有効に使い、その他は人手で手分けして運搬する
・タイマーは、ピークルの車両に載せられれば車両で運搬、載らなければ優先して第一便で運搬する・・・小山
・コース設営用品（梱包に書いてある）は優先して必ず第一便で運搬する

・セミナー棟裏手の用具保管場所から、三角コーン（12～15個）、コーンバー（使えそうなものすべて）を競技場へ降ろす
・・・増間、森下（※身分証明証預ける）
■4．道案内班は、運動場への運搬第１便から戻ったところで(8:10頃)班ミーティングを行いスタンバイする
■5．第一便運動場への荷卸し後
・コース設営班はコース設営作業にとりかかる
・本部設営班、給水所準備班、記録準備班の男子はテントを組み立てる
・第二便の運搬が必要な場合は給水準備班が担う

受付準備

・・・受付班　**佐々木智、高橋**、岩松、森田英、清田、森田き、野村、中井、村野、佐久間

■1．什器、備品
・長机5基・・・2基は競技者応対用として前面に、残り2基は後ろ壁面、１基は「チップのつけ方見本シューズ」展示用
・椅子6脚は使い勝手の良いように利用
・ガムテ、ビニールテープ、結束バンド、ワイヤー、カッターなど工具、文具セット一式
■2．ディスプレイ
・のぼり（緑）１本（台つき）・・・全面横に、横幕１枚・・・ビニールテープなどで後面の壁に
・Ａ４「Runtogether」サインプレート数枚・・・机の前に下げるなど
・ゼッケンナンバーによる受付列3か所の表示パネル・・・後面の壁に貼る
■3．チップ装着見本シューズ展示／更衣室誘導パネル設置
・受付から更衣室へ向かう導線に長机１基を配して以下を展示
装着見本シューズ1足、サインプレート「足首バンドを希望の方はお申し出ください」、サインプレート「←更衣室、運動場」
■4．その他
・チップ回収ポーチ、足首バンド、サインプレート「受付終了しました」

受付

・・・受付班　**佐々木智、高橋**、岩松、森田英、清田、森田き、野村、中井、村野、佐久間

■1．名簿3種類
・受付名簿×５・・・3つは選手応対用、１つはエントリーリスト用（佐々木智）、一つは予備
・選手検索用五十音順名簿×３
・連絡先名簿×１（佐々木智）
■2．選手対応
・受付名簿には、ゼッケンナンバー、氏名、申込み代表者氏名と備考空欄が記載されている。
・選手対応はゼッケン番号別に3列で対応
左列・・・101～184　清田・森田き
中央列・・・185～268　野村、中井
右列・・・269～305と11～56　村野、佐久間
・来場した選手毎に、受付番号（＝ゼッケン番号）と氏名を聞いて、受付名簿と照合して名簿の番号を〇で囲む
・透明封筒の中に見えているゼッケン番号と氏名を確認して渡す。
<透明封筒封入物>
プログラム、快体健歩チラシ、快体健歩クーポン、Ｂ&Ｄチラシ、ウィグライ試供品、チップ取付図、ゼッケン1枚、
安全ピン、チップ、参加賞（シューレースロック）
（ゼッケンは男子：水色3桁、女子はピンク2桁、氏名も記載されている）
・受付番号は参加通知としてメール送信しているが、万が一わからない場合は種目と氏名を聞いて「選手検索用五十音順名簿」で調べる。
・受付に来て出走しない人（帰るまたは見学応援する人）の対応・・・透明封筒の中からチップのみを回収（※ゼッケン、安全ピンは有ると紛らわしいので持ち帰ってもらう）名簿に〇囲みした上から取り消し横線を引く
・本人以外の受付もＯＫ、ただし、出走しない人の参加賞をもらうための代理来場の可能性もあるので、そのゼッケンの選手が出走す

るか否かを確認して、出走しない場合は透明封筒の中からチップのみを回収（※ゼッケン、安全ピンは有ると紛らわしいので持ち帰ってもらう）

・出走しない人から回収したチップは、チップ回収ポーチに入れて、後に本部で専用トレイに収める・・・（佐々木智）

・選手対応に余裕があれば声掛けをする「開会式は10:00です」「楽しんで走ってください。」

・早めに（9:00前に）受付を開始した際は、「運動場の開場は9:30を予定しています」と添える

■3．エントランス誘導（1、2名）・・・岩松、森田英

・入って来る方に、受付番号毎の列に並ぶように声掛け

・門を出る人がいたら声掛けして、出走しないのであればチップの返却を確認

■4．受付閉鎖

・道案内班と連絡を取り合って状況をみながら判断する

・9:30過ぎで問題なければ受付一次閉鎖（選手対応はするが撤収作業をし始める）→ 本部に一次閉鎖時刻を連絡

・残りの透明封筒と名簿を照合確認する

・9:30過ぎに運動場に向かうスタッフは、手分けして、のぼり＋のぼり台、横幕、受付列表示パネル3枚を運搬する

・10:00過ぎ、「受付終了」のプレートを残して完全閉鎖 → 本部に完全閉鎖時刻を連絡

・9:30前でも、状況を見て減員してもよければ、リーダーの指示により数名ずつ運動場に降りてもらう
（※撤収作業要員として男子含め3、4名は残る）

・9:30過ぎに運動場に向かうスタッフは、手分けして、のぼり＋のぼり台、横幕を運搬する

■5．撤収作業

＜運動場へ降ろす物＞

・のぼり＋のぼり台、横幕、チップ装着見本シューズ、足首バンド20個
回収済みチップ、来ていない人の透明封筒全部、受付名簿

＜運動場へ降ろさないもの＞

・長机1基・・・「受付終了」のプレートを置いておく

・残りの机、椅子は壁側へ寄せておく

・道案内、場内誘導、受付3列ナンバーのサインプレート、誘導チップ装着見本展示で利用したサインプレーと、Runtogether ディスプレイプレート、リレーの賞品、工具文具備品は、段ボールや大袋にまとめて長机の下に置いておく

■6．エントリーリスト連絡・・・佐々木智

①9:30時点で、3列の受付名簿の状況を1つの名簿（エントリーリスト用）に写す。来ていない人（＝○囲みの無い人）と、受付はしたけど走らない人（＝名前斜線と備考DNS記載の人）斜線）のナンバーを記録班小山に連絡。

②先のエントリーリスト名簿上で、その後に受付をした人のナンバーを、別の色で○囲みしてゆく

③ある程度まとまったところで、別の色で○囲みされたナンバー（＝新たに出走確定になった人）を記録班に連絡

④最終的に、○囲みの人が出走者で、○囲み横取り消し線の人と○囲みの無い人が出走しない人がＤＮＳとなる。
ＤＮＳの人を記録班に連絡

・エントリーリスト名簿は、受付終了後からは、本部においてチップ返却確認リストとなる

■7．遅刻者の対応

・選手ナンバー、氏名を連絡・・・佐々木智 →小山 →ピークル

・着替えや移動で10:30のスタートに間に合わない場合は、勝手に走らずに本部で指示を仰ぐように指示
→ スタートラインを踏ませるように対応・・・小山

・10:00を過ぎて受付に来場した人は、受付終了案内プレートにかかれた専用電話（本部所持）に連絡してもらい、着替えを済ませて運動場に降りるよう誘導。記録に連絡。本部でゼッケン、チップを渡して、スタート・・・小山

場内誘導・・・場内誘導班 **大村**、石川和、今井、門脇、高島

・Ａ3のサインプレートを持って声掛け案内する

・主な立ち位置と案内

①更衣室前からゴミ処理場あたり・・・サインプレート「←女子更衣室」1名

②更衣室前からゴミ処理場あたり・・・サインプレート「→男子更衣室、運動場」または「←男子更衣室1名

③運動場への通路あたり・・・サインプレート「←運動場　開場予定9:30」または「←運動場」1名

※①～③のサインプレートは両面で、片面は矢印無しバージョン。使い勝手の良い方を使う

④セミナー棟入口・・・サインプレート「土足厳禁。サンダルに履き替え下さい」1名

・選手の動きや混雑度を見ながらサインや立ち位置を変更してもよい

・9:45 撤収　→　運動場へ

・案内プレートは受付の後ろに置いておく

道案内・・・道案内班　**大村**、尾崎、槇田、中条、宮澤

・リーダーと携帯で連絡をとりあう

・主な立ち位置とサイン内容

①改札出て右手・・・「ここを降りて左、薬局の前を右へ」

②改札出て正面・・・「この奥スロープを右へ下りて薬局の前を右へ」

③駅北口のヤックスドラッグ前・・・「→ こちらへ、まっすぐ」

④公園前信号交差点付近・・・「→ こちらへ、まっすぐ」

他に、改札出て右手下りた所・・・「←こちらへ、薬局の前を右へ」もある

※各サインプレートは両面で、片面は「案内文」が無く大会名のみ。臨機応変に使い勝手の用法を使う。

・状況を見ながら、変更しても良い。

・9:15 を過ぎている場合は、『受付は9:30 までです。お急ぎください。』

・受付班と連絡を取り合って、9:30 過ぎて一次閉鎖とともに撤収

→　受付ののぼり、のぼり台、横幕をピックアップして運動場へ下りる。

・案内プレートは受付後ろに置いておく

本部設営・・・本部設営班　**佐々木**、小倉、、渡辺陽

■1．什器

・テント1張り、長机5基（4基はテント内、1基はチップ装着見本展示／チップ回収缶置き）、椅子4脚

■2．ディスプレイ

・のぼり（緑）1本・・・台で自立させる

・のぼり（白）4本・・・2本は本部テント前面両端、2本は計測テントの角に、紐やビニールテープ、結束バンド等で設置

・横幕1枚‥本部テント前面に配した長机の前にビニールテープなどで下げる

・「Runtogether」Ａ4プレート数枚・・・本部テント前面に配した長机の前やテントの上部に下げる

■3．備品

・救護用品・・・毛布、外傷系キット、スポーツドリンク500ml 2本（給水所のクーラーボックスに入れておく）

・トラメガ（電池を入れて動作確認）

・スターター（雷管を入れて動作確認）

・入賞賞品、抽選会景品

・抽選会小道具

・チップ未返却クリップカード&クリップ

・ガムテ、ビニールテープ、結束バンド、ワイヤー、カッターなど工具、文具セット一式

・午後の会員リレーの備品（タスキ、バインダー、ボールペンなど）

・午後からの参加者（木村勝、木村千春、向佐光治）へ渡す封筒、集金袋

■4．運動場トイレのペーパー確認

■5．他の作業班への協力

・要請があった作業班を手伝う

記録 ・・・記録班 **小山、渡邉美**

■1．什器

・テント1張り、長机2基、椅子4脚

■2．ピークルと連携

・エントリーリストをピークルへ連絡（受付からの連絡を適時更新）

・記録証の用紙をピークルに渡す。※賞状用紙はピークル用意

・ピークルのスタッフ2名に昼食の希望（内容と時間）を聞いてセブンイレブンで手配（レシート清算）

ついでに救護用のペットボトル（水×２、スポドリ×２）を購入・・・渡邉美

・周回チェックの報告、入賞候補者チェック、トラブルの対応などをスタート前に打ち合わせしておく

■3．スタートライン（＝周回チェックライン）準備・・・作業時に本部設営班に協力人員要請

・スタート整列の女子および障害者レーン確保・・・進行方向左側を、幅約2m×長さ15mを三角コーンとコーンバーで仕切る

・スタートライン設定・・・実際の周回チェックライン（マット）より2m手前を三角コーンとコーンバーで仕切る

・通過ラインの左横にタイマー時計設置、動作確認。備品：取扱説明書、電池

■4．リザルト掲示版準備

・椅子を立て掛け台にしてホワイトボードを設置

・全結果の出力プリント掲示用、男子上位用、女子上位用の計3か所

・備品・・・マグネット２２個、マーカー（黒、赤、青、緑）、その他設置用事務用品は本部共用

給水所設営 ・・・給水所設営班 **森下**、正木、渡辺恭、小河原、中尾

■1．什器、備品

長机2個、クーラーボックス55ℓ×1、大型ポリタンク22ℓ×1、ハンディワンプッシュ水筒1.8ℓ×３

空のペットボトル2ℓ×2、やかん3～4個、紙コップ（270ml）400個、プラカップ（270ml）1600個、

使用済みカップ入れのゴミ袋大、ゴミ袋を設置する段ボール箱×３

■2．準備作業

・リアカーを利用してやかん（3～4個）をセミナー棟の食堂から借りて降ろす。その際に冷凍庫から氷を満タンに入れておく

・備品と、氷、水をどのように扱うかの手順と担当ローテーションを決めておく

・氷は設営最初のみ食堂から出すが、その後は往復の時間が無ければセブンイレブンで購入

・使用済みカップを入れる（捨てる）ゴミ袋段ボール箱を設置

・準備完了したら時刻を本部佐々木に連絡

■3．スタート前給水サポート

・9:30以降はスタート前でも提供する。

コース設営

・・・コース設営班 **藤本**、石川大、後藤、大塚、栗城、斉藤、田中、本田、増間、松田、村上、菊池、寺田、矢澤

A班：矢澤（班長）、大塚、松田

周回チェックエリア過ぎ～一つ目の丘～一つ目の谷間（トイレへの誘導ライン）～二つ目の丘手前

B班：増間（班長）、栗城、後藤

二つ目の丘の上り～Uターン～二つ目の谷間の台地への入口　（丘の左ラインは上り下りとも共通なので一本のライン）

C班：寺田（班長）、田中、村上

二つ目の谷間の入口～三つ目の丘～周回エリア手前（丘の左ラインは上り下りとも共通なので一本のライン）

D班：斉藤（班長）、本田、菊池

本部・周回チェックエリア

ユーティリティ：石川大

監察ポジションへマーカーを置く、トイレ誘導ライン決め、コースの測定、ヘルプ、伝達 etc

■1．備品

・カラーテープ（黄）500m×4、（紫）500m×4、（赤）500m×1、予備として（黄緑）、（ピンク）、（白）

・割りばし×600、Wクリップ×600、

・ハンマー×6、ペンチ×3

※各班の割り当て分に予め分けてある。割り当て分以外をみだりに持ち出さない

各班割り当て・・・黄1巻、紫1巻、割りばし150本、クリップ150個、ハンマー×1、ハサミ×2

・監察ポジションミニ三角コーン１２個

■2．設置作業

・4班に分かれてロープを設置してゆく

・カラーテープを割りばしに一巻きして、巻いた部分をクリップで留めて、ハンマーで地面に刺す

（※終了後に手で抜くことを考えて、深い刺し過ぎに注意、備品のペンチは抜き作業用）

・基本：コース左端（全部）・・・黄色、コース右端（主要カ所）・・・紫色

・本部・周回チェックエリア：基本テープに加えて、立ち入り禁止区域を作る・・・赤色

・コース途中のトイレへの導線、トイレ案内サインプレートの設置

・基本間隔5m～10m（エリアによって間隔は異なる）

・リーダーと班長は携帯で連絡をとりあう

・監察ポジションにミニ三角コーンを置く

・ウォーキングメジャーとＧＰＳで計測（GPSは持っている人2、3名に依頼する）

・コース設営完了時刻を本部佐々木へ連絡

写真・・・写真班　中西、山口

■1．次回のマニュアル作りのために、各所のセッティング状態を撮る

・受付、給水、本部、記録・・・テントや什器、ディスプレイの位置や数がわかるように

・道案内、会場案内・・・ポジションとサイン内容がわかるように

・コース・・・スタートからゴールまでのロープを追って撮る

■2．準備作業を撮る

・運搬、設営など

■3．受付中の模様を撮る

【開会式】

・10:00～　本部・周回チェックエリアの中央付近で行う

・作業の無い会員は主催者側（テント側）に整列

・進行：森下

・式次第：開会宣言（森下）→主催者挨拶（佐々木）

→競技ルール説明（増間）・・・チップ付ける場所とゼッケンの位置も

→コース説明（藤本）・・・休憩とコースの出入り注意、本部・計測エリア周りのロープまたがない注意

→救護について（佐々木）→その他案内（森下）

・案内事項：トイレ、給水、途中結果発表（場所、時間）、

リタイアの仕方（チップ）、記録証（配布予定時間）、閉会式・抽選会（時間、参加条件）

【スタート準備～スタート】

■1．整列誘導　10:20・・・監察班のうち、最初に走路に立たない人

・女子および障害者はコース左寄り、男子はコース右寄り

・整列順はフリー

・横入りは制する
・スタート位置は周回チェックのマットより2m手前
■2．監察員スタンバイ　10:25
■3．後走員スタンバイ　10:25・・・藤本、大村　※ビブスは1名分
■4．アナウンス：森下
・整列開始5分前アナウンス　→　整列開始アナウンス
・チップ確認、ゼッケンの位置（胸についているか）、整列ルールなどをアナウンス
・「1分前、30秒前、10秒前、5，4，3，2，1」
■5．スターター：佐々木
・万が一発砲しない場合に備えてクラッカー準備・・・佐々木智
■6．タイマースタート・・・小山

【競技中作業】

チップ回収（競技中）・・・本部、監察班

・制限時間内の途中でやめる方のチップを回収
・選手には、「本部または最寄りのスタッフへ」と案内、アナウンスします
・監察ポジションで預かった場合は、監察任務終了時にもち帰って本部へ渡す
・本部では専用トレイにしまう

周回チェック／記録

■1．周回チェック・・・周回チェック班　**増間**、岩松、寺田、石川大
・2名1組で行う
・1名が目視で周回チェックライン通過者のゼッケンナンバーを読み上げ、1名が周回チェック用紙に記入する
・用紙はマス目があるだけ。（男女やゼッケンナンバーで枠は分けない）
・マス目1つにナンバー一つ、可能な限り通過順に記入
・通過は確かだが、ナンバー読み取れない選手の通過は、マス目に大きく「✔」で印す。男女がわかるようであれば「M」男、「F」女の記入でも良い。
・全選手1周回の完了をもって、最初のチェック用紙群は終了
※全員1周回は後走員の通過でわかる。ただし、周回遅れが出るので注意
・2周目は必ず新しいチェック用紙に記入。以降は用紙のマス目が満枠になる前に、タイミングの良いところで次の用紙に以降
・万が一チップがはずれてしまった選手が発覚した場合は、記録班、ピークルと対応を打ち合わせて対応する
・記入済みの用紙は小山が回収
・1周目はチェックできない、その後もチェック漏れがあるものと前提、あくまで機械計測のバックアップとして行う
・チェックラインの通過状況はピークルがVTRでも撮る
■2．経過の把握・・・**小山**、**渡邉美**、周回チェック班、
・周回チェックとピークルの計測記録から、入賞にからみそうな上位（多くて7～10名くらいまで）を把握
・制限時間終了10分前頃より、上位入賞候補者の確認作業を行う
・周回チェックとピークルの計測記録から、未通過者がいた場合は本部にも協力を仰ぎ、対処する
■3．途中経過・リザルト掲示・・・**渡邉美**、今井
・1時間、1時間30分経過、最終リザルト確定の各段階で、ピークルに印刷を依頼　→　出力をホワイトボードに貼る
（A4タテ1枚におよそ50名分が上位順に出力され、全部で6枚になる）
・出力プリントをもとに、男女各上位5～10名のゼッケンナンバー、氏名、周回数をホワイトボードに手書きする

監察・・・監察班 **藤本、大村**、石川和、大塚、尾崎、後藤、栗城、斉藤、田中、本田、槇田、松田、村上、門脇、清田、佐久間、菊池、中井、中条、宮澤、森田き、矢澤

■1．後走・・・藤本、大村

・最後尾について1周だけ走り、1周回全員完了を周回チェック員に連絡。

・走りながら観察員の立ち位置、コースロープの不備や追加必要箇所などをチェック

■2．監察

＜ローテーションとポジション＞　※当日に詳細指示

・30分づつA、B交代

※数字はポジション

A班　班長 大塚：1・2 森田き、田中、3・4 矢澤、清田、5 大塚、6・7 本田、後藤、8 中井、9・10 斉藤、宮澤

B班　班長 中条：1・2 栗城、菊池、3・4 金、門脇、5 中条、6・7 松田、石川和、8 槇田、9・10 村上、佐久間

・携帯、筆記用具とメモ用紙（各自手配）を携帯して就く

・コースの逸脱があった場合は、ゼッケンナンバーと状況をすみやかに本部に連絡

・リタイアの申し出には、チップを外して本部に持って行くように促す。コース外を帰還する場合はゼッケンもはずしてもらう

・本部、周回チェックエリアでは、トイレや飲食休憩からの出入りにおけるコースロープまたぎ違反の無いように注意喚起

・リーダーは移動観察員としてコースロープ不備やポジションのチェックなどをして然るべき対処をする

※制限時間終了後は、競技者はどこを走って戻っても構わない

・制限時間終了後は、チップ回収作業をする

・傷病者発見の際は、応急処置と本部連絡

給水・・・給水班　**森下**、正木、渡辺恭、小河原、小倉、中尾、野村、村野、高島

・長机縦列2基に3カ所で配給

・リーダーの指示に従い、氷手配、冷水作り、給仕、使用済みカップ回収などの役割分担、ローテーションで対応

・できる限り冷水をつくる

・氷は食堂から運ぶが、時間が無ければセブンイレブンで購入（レシート清算）。

・紙コップ400個、透明プラスチックカップ1400個。無くなりそうな場合はプラカップを洗って再利用する

・使用済みカップの回収：段ボール箱3か所より集積、かさばらないように整理

・氷のリクエストに対しては、用途を聞いて対応（アイシング用はOKだが、飲料用はお断りしてセブンイレブンを案内）

・閉会式までと閉会式終了～13:15頃まで対応。閉会式開催中は一時閉鎖する

・氷とカップ50～100個は午後の会員リレーの分も用意しておく

・森下、菊池以外は、閉会式終了後、記録証配布に就く

本部・・・佐々木、佐々木智、高橋、渡辺陽、森田英

■1．回収チップ管理

・競技スタート後、エントリーリスト○囲みの無い人と透明封筒が合致しているか確認作業

・透明封筒からチップと取付説明図を抜き出す。取付方説明図は捨てて、チップを専用トレイにしまう。

※透明封筒は後に利用するので丁寧に扱う

・受付でチップ回収ポーチに回収したチップを専用トレイにしまう。・・・佐々木智

■2．遅刻者対応

・10:00を過ぎてセミナー棟に到着した選手から電話があった場合に対応する

・更衣室、ロッカー、持ち物などを説明して、運動場の本部へ誘導、本部で透明封筒とチップを渡す。

・記録に連絡して預ける、スタートラインから出走させる・・・小山

・閉会式抽選会の準備、選手の問い合せ対応、

■3．閉会式、抽選会の準備

■4．運動場トイレのペーパー確認

■5．必要に応じて他の作業班を手伝う

救護・・・佐々木、渡辺陽

・救護処置は本部テント内で行う

・各自、各所にて、発生時点で必要な応急措置を判断して実行（119 番通報、本部救護へ連絡や案内、応急処置）

写真・・・写真班　中西、山口

■1．セレモニーの撮影

・開会式、スタート風景、閉会式、抽選会

■2．競技中の撮影

・各班作業の様子

・全選手の個人カット・・・バックの見栄えや光具合を考えた定点（2 か所）それぞれで、1 周回分構えて撮る

・競技会場の雰囲気が大きくつかめる、引きの広角でのカット

・個人でも広角でもない中程度のカット、

【制限時間終了～記録証配布】

・競技終了はスターターピストル2，3 発で合図・・・佐々木

チップ回収（競技終了後）・・・監査班、本部

・制限時間終了後すぐに、チェックライン先に長机を 1 基置いて、チップ回収集缶と案内プレートを設置・・・森田、小倉

・制限時間終了後はどこを走って戻っても構わず、ゴールラインまでたどり着く必要が無いので、随所で声掛けをする

・声掛け回収・・・監察班

A1～5：周回チェックラインの先・・・（隊長：大塚）、A6～10：本部エリア、休憩エリア声掛け

B1～10：監察ポジションからの撤収帰還時に声掛け

・制限時間終了後に本部よりアナウンス・・・森下

・チップ回収缶から本部の専用回収トレイに整理・・・本部

※専用回収トレイはナンバー別に入れる場所が決まっている。（未回収は一目でわかる）

・未回収は記録証配布前にクリップで印す・・・佐々木智

閉会式・・・運営委員、本部

■1．準備・・・本部

・本部の長机 2 基を、本部テント前へ移動

・受付から移動したのぼり（緑・台付自立）を机の脇に設置

・表彰状（小山）、賞品と抽選会景品（佐々木智）を机に置く

■2．式次第

・進行：森下

①上位表彰者読み上げてステージに出て来てもらう・・・小山　※よみがなは本部の名簿で確認しておく

②表彰

表彰状読み上げ、賞状授与・・・佐々木

副賞手渡し・・・佐々木智

③総評・・・佐々木

④抽選会・・・佐々木、景品渡し・・・渡邉美、大村

⑤連絡事項、閉会宣言・・・森下

チップ未返却者呼び出し

記録証配布の仕方、郵送しないこと

シャワー時間　14:30 まで、ゴミ持ち帰り

記録証配布 ・・・周回チェック班、記録班、給水班より７名、本部（森田英）

・記録テント内でピークルが印刷

・約30 枚単位、８つの指定透明クリアファイルに入れる

	101～130	131～160	161～190	191～220	221～251	251～280	281～305 11～20	21～56
プレート	増間	岩松	石川大	小山	正木	小河原	渡辺恭	森田英
お渡し	野村	中尾	高島	村野	小倉	寺田	渡邉美	今井

・記録計測テント前から休憩エリアにかけて後方に並んでもらう　※本部前は入賞者撮影や問い合わせ対応のため空ける。

・スタッフ２名一組で、一人がゼッケンナンバープレートを掲げ、一人が記録証を持つ

・ゼッケンナンバー若い順に８列つくり、選手に該当の列に並んでもらう

・各列で並んだ順に一人づつに渡す

・『おつかれさまでした。来年もどうぞご参加ください。』

・チップ未回収者（記録証にクリップが付いている選手）はチップと引き換えにする

・一斉配布で受け取りは当日時間内のみ。個別の先出しには応じない、また、郵送もしない。

【デュアルたすきリレー～打上げ】

午後から参加会員の受付 ・・・渡邉美

・午後から参加者・・・向佐、木村勝、木村千春

・13:05 に会場（セミナー棟）に着いたら、渡邉に電話

→　更衣室、ロッカーなどを電話で案内して競技場へ下りて来てもらう。

・受付は競技場で渡邉美が行う（集金、ゼッケン、参加賞渡し）

デュアルたすきリレー準備作業

・コース設営：佐々木

・給水：クロカンチャレンジの設営をそのまま利用ぐ

・記録備品：記録用紙、バインダー、ボールペン

デュアルたすきリレー

■1．競技概要

・１チーム６人（1組～５組まで計５チーム）

・各チームに同じ色のたすきを２本（トリオ用たすきとソロ用たすき）

・ゼッケンは胸部に１枚。１組＝ゼッケンナンバー１×６名分、２組以降同様

・コースは、トリオコース、ソロコースそれぞれ約1㎞弱の周回コース

・トリオは必ず３名で走り、誰か一人がたすきを装着

・ソロは必ず１名で走り、たすきを装着

・ソロは１周回したらソロは必ず走者を交代する

・トリオは1周回したら、3名の内の最低1名は走者交代する
・誰がいつどのコースを走るかは自由だが、全選手がソロとトリオでそれぞれ1回以上走ること
・交代はリレーゾーンのみ
・トリオは、リレーゾーンの手前に設けられた手繋ぎゾーンからリレーゾーンまでの間、3人手を繋いで走る
・制限時間70分
・制限時間内に通過した周回は帰還タイムにかかわらず周回数に認められる
・1周回毎にポイント獲得：トリオ2点、シングル1点
・その他走り方などに応じてボーナスポイントがある（かもしれません）
・合計得点の多いチーム順が上位‥賞品あり
・同点の場合は、ソロとトリオの合計周回数の多い方が上位、なおかつ同点の場合は、トリオの周回数が多い方が上位、なおかつ同点の場合は、トリオの最終周回に入ったタイムの早い方が上位

※当日の雰囲気などでルールが変更になる場合もあります

■2．記録員・・・佐々木智、村野、森田き、寺田、渡邉美
各チームに一人、専用用紙に、ソロ、トリオそれぞれの出走メンバー名を記録する

■3．監察・走路員・・・小山、本田、村上
コース誘導、手繋ぎルール、たすき装着状態をチェック

■4．給水サポート・・・高橋、渡辺陽、小河原

■5．写真・・・中西、山口

撤収作業・・・全員

・競技場のテント、長机、椅子はそのままに
・運動場から借りた三角コーン、コーンバーは元の場所（セミナー棟裏の備品倉庫）へ
・上記以外は、ゴミを含めすべてセミナー棟へ運ぶ
・丸型のカラーマーカーとミニ三角コーンは持込み備品なので倉庫へ入れないように注意
・コースロープ、割りばし、クリップの撤収は、各自バラバラに動くと取り忘れを残す原因になるので、数名グループになって、ロープ沿いに確実に順々に撤去してゆく
・コースロープと割りばしは捨てる、クリップは捨てない（脚を閉じた状態にして回収）
・タイマー時計は電池を抜いてセミナー棟へ運ぶ（精密機器につき注意）・・・小山
・持ち込み備品は、旗類、サイントプレート、クリップ、カラーロープ、工具、給水カップ（未開封）、文具類、書類など、同じものをまとめて透明レジ袋または透明ゴミ袋に入れる
・ゴミの分別・・・ペット、びん、缶、燃やせるもの（資源を含む）、燃やせないもの
・ゴミはかさばらないように工夫してコンパクトにしてセミナー棟エリアの集積所へ
・芝の上はゴミ一つ残さないようにチェックして退散する

打上げ

・会場・・・「わたみん家」 新検見川南口店　検見川駅前、検見川総合運動場と反対側
・時間・・・17:30～19:30
・予算・・・飲み放題のコース料理3500円
・参加者・・・４３名

本部電話番号：０８０－６７８２－２２８６

■会場施設（検見川総合運動場）043-273-8668

■千葉市休日救急診療所　千葉市美浜区幸町１－３－９　TEL：043-238-9911 043-244-5353（テレホンサービス）
内科・小児科・外科・整形外科、耳鼻咽喉科・眼科・歯科　9:00～17：00（受付は8:30～11:30　13:00～16:30）